



**Aladin SPORT**  
**User manual**

**deep down you want the best**

[scubapro.com](http://scubapro.com)

## I 安全上の考慮事項



Scubapro Aladin SPORTを使用する前に、マニュアル全体をよく読み、理解してください。

ダイビングにはさまざまな危険が伴います。十分な注意を払い、本マニュアルの指示に従った場合でも、重症や死亡の危険、減圧症、酸素中毒、あるいはナイトロックスや圧縮空気を用いたスクューバダイビングに伴うその他の危険はなくなりません。これらの危険を完全に認識しており、それを受け入れ責任を考えられない限り、Scubapro Aladin SPORTの使用をお控えください。


### SPORTの使用に関するガイドライン

SPORTの使用に関する次のガイドラインは、ダイビングコンピューターを使用するダイビングに関する最新の医学研究結果と米国水中科学学会の勧告に基づいています。これらのガイドラインに従うことで、ダイビング中の安全性が大幅に高まりますが、減圧症または酸素中毒が発生しないことを保証するものではありません。

- SPORTは、圧縮空気(酸素21%)およびナイトロックス(酸素22~50%)によるダイビングを対象として設計されています。これら以外の混合ガスによるダイビングにはSPORTを使用しないでください。
- ダイビングの前に、設定された混合比を確認し、現在使用している混合ガスと必ず比較してください。混合比を不適切に設定すると、減圧症や酸素中毒の危険が伴います!測定された混合比からの最大許容差は酸素1%以内としてください。間違った混合比の設定は死亡の危険があります。
- SPORTは呼吸システムが開放式なものにのみ使用してください。
- SPORTはレギュレーターのような独立した呼吸システムにのみで使用できます。SPORTはナイトロックスへの長時間の暴露に対応するには設計されていません。
- 表示および音声でのアラーム信号を常に確認してください。本書に掲載された警告表示によって通知されるような危険性が高まる状況は避けてください。
- SPORTにはppO<sub>2</sub>警告機能があります。デフォルトで設定されているppO<sub>2</sub>maxの上限は1.4barです。この値は1.2~1.6barの間で変更できます。
- 「O<sub>2</sub>クロック」(CNS O<sub>2</sub>)を常に確認してください。CNS O<sub>2</sub>が75%を上回ったら、浮上してダイビングを終了してください。
- 使用している混合ガスの最大行動可能深度(MOD)を超えるダイビングをしないでください。
- 常に酸素含有量とスポーツダイビングの標準手順を考慮してダイビング限度を確認してください(減圧症、酸素中毒)。
- すべての指導団体が推奨する最大ダイビング限度に従って、40m/130フィートより深いダイビングは行わないでください。
- 窒素酔いの危険も考慮する必要があります。SPORTは窒素酔いに関する警告は行いません。
- ダイブコンピューターの使用の有無を問わず、すべてのダイビングにおいて、深度5m(15フィート)での3分間以上の安全停止を行ってください。
- ダイブコンピューターを使用するすべてのダイバーは、ダイビングの計画を立てたり減圧状況を確認するにあたって、すべてのダイビングで自分が携帯したコンピューターを使用する必要があります。
- SPORTがダイビング中に故障した場合、ダイビングを直ちに中止し、すみやかに、適切な浮上手順(ゆっくりとした浮上速度、5m/15フィートでの3~5分間の安全停止)を開始してください。
- 浮上速度を厳守し、必要な減圧停止をすべて実施してください。なんらかの理由でコンピューターが故障した場合、1分間10m/30フィート以下の速度で浮上しなければなりません。
- すべてのダイビングにおいて、パディを組むダイバーが持つダイブコンピューターのうち厳格な方の指示に従ってください。
- 決して一人ではダイビングしてはなりません。SPORTはパディではありません。
- 自分のレベルやトレーニングに応じたダイビングをしてください。SPORTはダイビング知識を向上させません。

- ・必ずバックアップ機器を用意してダイビングしてください。ダイブコンピューターを使用してダイビングするときは、深度計、残圧計、デジタルボトムタイマーまたはストップウォッチなどのバックアップ機器を必ず使用し、ダイブテーブルを用意しておいてください。
- ・潜行と浮上を繰り返さないでください（「ヨーヨーダイビング」）。
- ・深度が深い場所で負荷のかかる作業を繰り返さないでください。
- ・水温が低い場合、ダイビング時間は短く計画してください。
- ・減圧停止の終了後や無減圧ダイビングの終了後には、できる限りゆっくりと浮上してください。
- ・SPORTを使用する前に、減圧症の兆候や症状を完全に理解しておく必要があります。ダイビング後にこれらの兆候や症状が認められた場合、すみやかに減圧症の治療を受けてください。治療の効果と、症状が発現してから減圧症の治療を開始するまでの経過時間には、直接的な関係があります。
- ・指導団体による指導を受けずにナイトロックスによるダイビングを行わないでください。

### 反復ダイビング

- ・CNS O<sub>2</sub>%の状態が40%を下回るまでは、次回のダイビングを開始しないでください。
- ・ナイトロックスによるダイビングでは、水面休憩時間を十分にとったことを確認してください（圧縮空気によるダイビングと同様）。水面休憩時間は少なくとも2時間空けるよう計画してください。酸素についても、体から排出されるまで十分な時間が必要です。
- ・ダイビング目的に応じた混合ガスを使用してください。
- ・画面にダイビング禁止警告  が表示されているときは、反復ダイビングを行わないでください。
- ・一週間に1日は、ダイビングを行わない日を確保してください。
- ・コンピューターを変える必要がある場合、48時間空けてから次回のダイビングを行ってください。
- ・残留窒素をリセットしてダイビングすると（リセットについては33ページ、バッテリー交換については37ページを参照）、深刻な負傷や死亡の原因となる危険性があります。残留窒素のリセット後48時間以内はダイビングを控えてください。

### 高度とダイビング

- ・高度が4000m（13000フィート）を超える場所ではダイビングを行わないでください。
- ・ダイビング後に、SPORTの高度範囲インジケーターで禁止される高度まで上昇しないでください（27ページを参照）。



### ダイビング後の飛行機搭乗

- ・ダイビング後は24時間以上待ってから飛行機に搭乗してください。



Aladin SPORT ダイブ機器は、EU指令2014/30/EUに準拠しています。

### 規格 EN 13319:2000

Aladin SPORT ダイブ機器は、欧州規格EN 13319:2000 – 深度計および複合深度および時間測定装置 – 機能および安全要件、試験方法)にも準拠しています。

## 概要

Aladin SPORTをご購入いただき、誠にありがとうございます。この優れたダイブコンピューターには、SCUBAPROの革新的な技術が搭載されており、皆さまのダイビングをサポートします。

SPORTをご利用のうえ、今後も安全なダイビングをお楽しみください。SCUBAPRO社およびSCUBAPRO製品の詳細は、当社ウェブサイト ([www.scubapro.com](http://www.scubapro.com)) にてご確認ください。

このマニュアルでは、読みやすさを重視して、「Aladin SPORTダイブコンピューター」の代わりに「SPORT」という略称を使用しています。

### 安全上の考慮事項

ダイブコンピューターは、ダイバーにデータを提供しますが、それらのデータを理解し、どのように活用すべきかという判断を提供するものではありません。ダイブコンピューターは知識の代わりにはなりません。したがって、SPORTを使用する前に、マニュアル全体をよく読み、理解してください。

### シグナルワードとシンボルに関する注記

本書では、特に重要なコメントに対して次のアイコンを利用しています。



注釈

SPORTの機能を最大限に活用するために役に立つ情報やヒントを提供します。



危険!

回避しないと死亡や深刻な負傷につながる可能性がある危険な状況を示します。

本書では次のシンボルを使用します。



点滅表示 -> 参照先ページ (例:->6)

### 音声シグナル



4秒



注意音シグナル



アラーム音シグナル

### 手入力時の操作方法



左押しボタンを押す



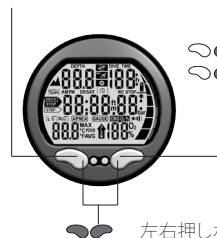
左押しボタンを1秒間押し続ける



右押しボタンを押す




右押しボタンを1秒間押し続ける






左右押しボタンを1秒間押し続ける



別表示

ダイビング中に  を押すと、別表示をスクロールできます。

最初の画面に戻るには:

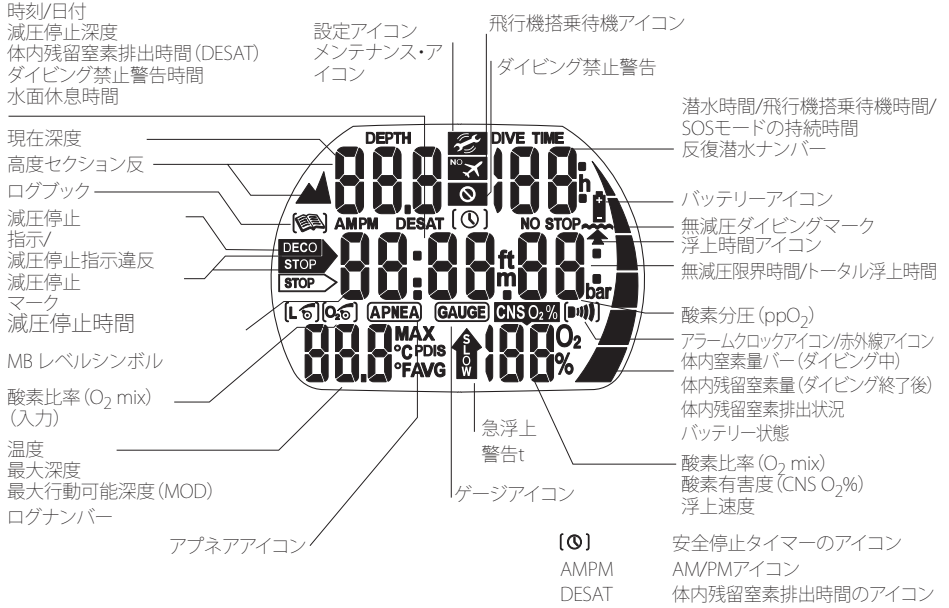
-  を押して画面のスクロールを続けます。
- 5秒後:  マークが付いている場合は自動的に戻ります。
- 5秒後:  を1回押すことで直接戻ります。

例: 最大深度  > 温度  > 温度、時間   > 最大深度

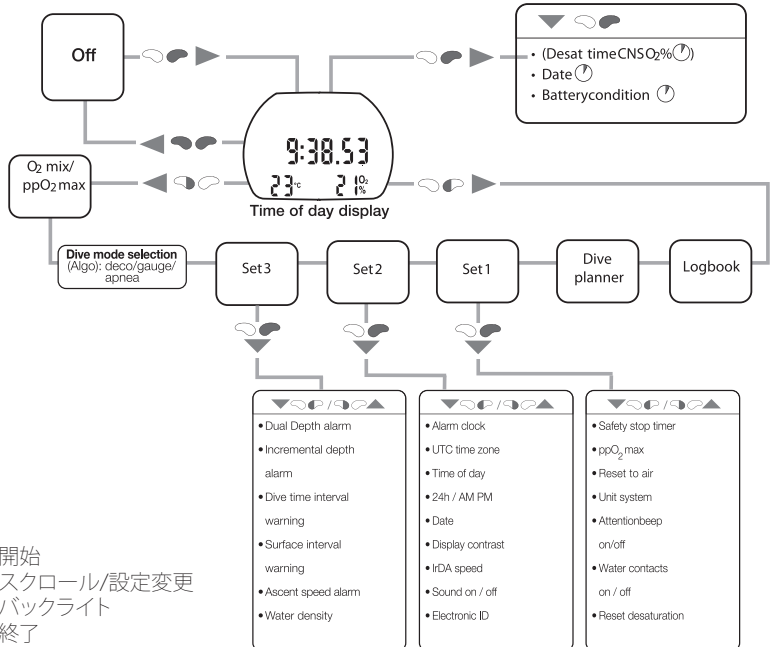


操作をせずに5秒経過すると、画面は自動的に元の表示に戻ります。

# クイックリファレンス



"->"は、該当ページに詳細情報があることを示します。



操作を行わないと、画面は自動的に時刻表示に戻り、3分後にオフになります。

13ページも参照

ディスプレイが消えている状態で



<p>O<sub>2</sub> %mix 酸素比率 [O<sub>2</sub>]</p>		<p>Logbook ログブック </p>	<p>Diveplanner (PLn) ダイブプランナー</p>
<p> 酸素比率 (O<sub>2</sub>%mix)</p> <p> 最大酸素分圧 (ppO<sub>2</sub> max)</p> <p>MOD (最大行動可能深度) 表示</p> <p> 設定</p>	<p>第1画面</p> <p>最大深度 28.9 m</p> <p>潜水時間 35:00</p> <p>電池残量 09.02.04</p> <p>潜水月日 (2004年2月9日)</p> <p>酸素比率 O<sub>2</sub> mix 21%</p> <p>ダイブログ / 24時間表示</p> <p> </p>	<p>無減圧ダイビング</p> <p>無減圧限界時間</p> <p>水面休 息時間 16:00</p> <p>Add 300 m</p> <p>深度 21%</p> <p>Exit</p>	
<p>第2画面</p> <p>反復潜水ナンバー 2</p> <p>高度アイコン 1</p> <p>高度クラス 10:32:50</p> <p>水温 25°C</p> <p>潜水開始時刻</p> <p>ダイビング終了時 CNS O<sub>2</sub>% (酸素有毒度) 8%</p>	<p>第3画面</p> <p>減圧停止を無視した場合に SOSが表示</p> <p>50.5 Int</p> <p>2:35</p> <p>水面休息をした場合の表示</p> <p>Exit</p>		
<p>最も古いダイビングログの次には</p> <p>ダイビング統計</p> <p>最も深かったダイビング 28.9 m</p> <p>最も長かった潜水時間 26:00</p> <p>ダイビング回数 53</p> <p>ダイビング回数 23 h</p> <p>累積されたボトムタイム</p>			

I	安全上の考慮事項.....	2
	概要.....	4
	シグナルワードとシンボルに関する注記.....	4
	クイックリファレンス/操作手順.....	5
	章目次.....	7
II	システムと操作.....	9
1	システムの概要.....	9
2	操作.....	9
	2.1 押しボタン.....	9
	2.2 水検知.....	10
	2.3 スキューバプロLogTRAKの概要.....	10
	2.4 表示をオンにする.....	13
	2.5 ダイビング前/ダイビング後のSPORTのナビゲーション方法.....	13
	2.6 体内残留窒素排出時間を確認する.....	14
	2.7 水面休憩時間を確認する.....	14
	2.8 日付を表示する.....	14
	2.9 バッテリー状態を確認する.....	14
	2.10 バックライト点灯.....	15
	2.11 表示をオフにする.....	16
	2.12 アラームクロック.....	16
3	SOS モード.....	16
III	SPORT を使用するダイビング.....	17
1	用語/シンボル.....	17
	1.1 一般的な用語/無減圧期間中の表示.....	17
	1.2 減圧期間中の表示.....	17
	1.3 ナイトロックス情報 (O <sub>2</sub> 情報).....	18
2	注意メッセージとアラーム.....	19
	2.1 注意メッセージ.....	19
	2.2 アラーム.....	19
3	ダイビングの準備.....	20
	3.1 ガス比率と最大酸素分圧 (ppO <sub>2</sub> max) を設定する.....	20
	3.2 ダイビングの準備と機能のチェック.....	20
4	ダイビング中の機能.....	21
	4.1 浸水.....	21
	4.2 潜水時間.....	21
	4.3 現在深度/酸素比率 (O <sub>2</sub> % mix).....	21
	4.4 タンク圧/最大深度/温度.....	21
	4.5 Ascent rate.....	22
	4.6 酸素分圧 (ppO <sub>2</sub> max)/最大行動可能深度 (MOD).....	23
	4.7 酸素有害度 (CNS O <sub>2</sub> %).....	23
	4.8 体内窒素量バーグラフ.....	24
	4.9 減圧情報.....	24
	4.10 安全停止タイマー.....	25
5	ダイビング前/ダイビング後の機能.....	26
	5.1 ダイビング終了時.....	26
	5.2 体内残留窒素量バーグラフ.....	26
	5.3 体内残留窒素排出時間、飛行機搭乗待機時間、ダイビング禁止警告時間.....	26
6	高所の湖でのダイビング.....	27
	6.1 高度範囲.....	27
	6.2 禁止高度.....	28
	6.3 高所の湖での減圧停止ダイビング.....	28

<b>IV</b>	<b>ダイブプランナー</b> .....	<b>29</b>
1	無減圧ダイビングをプランする.....	29
2	ダイブプランナーを終了する.....	29
<b>V</b>	<b>ログブック</b> .....	<b>30</b>
1	概要.....	30
2	操作.....	30
<b>VI</b>	<b>設定</b> .....	<b>32</b>
1	「set 1」メニュー.....	32
2	「set 2」メニュー.....	34
<b>VII</b>	<b>付録</b> .....	<b>36</b>
1	技術情報.....	36
2	メンテナンス.....	36
	2.1 バッテリーを交換する.....	37
3	保証.....	39
4	索引.....	40
<b>VIII</b>	<b>ゲージモード / アプネアモード</b> .....	<b>40</b>
1	ゲージモード.....	40
2	アプネアモード.....	42
	2.1 アプネアモードのオン/オフを切り替える.....	42
	2.2 アプネアモードでのダイビング.....	43
	2.3 「set 3」メニュー (アプネア).....	44



## II システムと操作

### 1 システムの概要

SPORTは、重要なダイビングデータと減圧データをすべて表示し、ダイビングデータを完全に格納するメモリーを備えています。データは赤外線 (IrDA) インターフェースと LogTRAK ソフトウェアを介して Windows® PC に送信できます。  
LogTRAK ソフトウェアのCDはSPORT/パッケージに同梱されています。PC内蔵の赤外線インターフェースがご利用できます。(未搭載の場合、別売)。



### 2 操作



操作方法については、5ページと13ページを参照してください。

#### 2.1 押しボタン

SPORT は2つの押しボタンで操作可能です(☉☉)。押しボタンの操作には、「押す」(☉ / ☉)と「押し続ける(1秒)」(☉/☉)があります。

ダイビング前/ダイビング後:



押しボタン

水検知 (正面に1つ、裏面に1つ)。  
ただし、接触は不可)

ダイビング中:



• SPORTの電源を入れる (時刻表示)



• キーボードの ENTER または RETURN キーと同等



• 表示されているサブメニューに入る



• 表示されている設定を開く



• 表示されている値または設定を確定または入力する



• メニューをスクロールする



• ☉☉ でサブメニューまたは設定に入ってから:

- 表示されている値を増加 (☉☉) または減少 (☉☉) する
- 設定を変更する



• バックライトをオンにする



• 現在の機能またはメニューを終了し、時刻表示に切り替える



• SPORTの電源を切る



• 代替表示にアクセスする ☉☉



• バックライトをオンにする



• 安全停止タイマーを起動する

(ダイブモードのみ、< 6.5m/21フィートの深度)

## 2.2 水検知

SPORTを水中に沈めると、水検知スイッチが自動的にオンになります。

**警告**

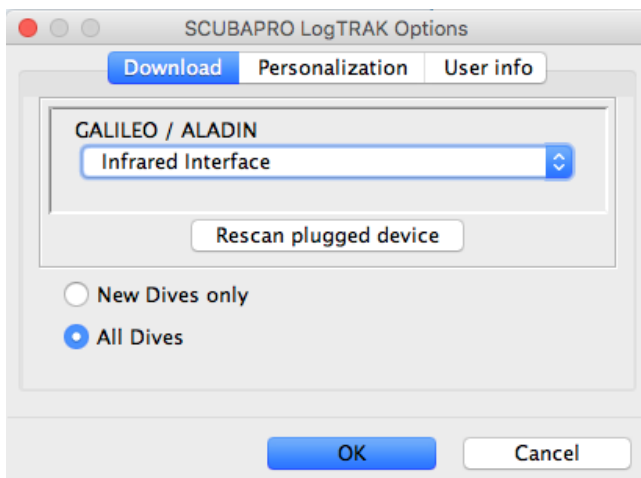
「水検知 オフ」(「set 1」->47) オプションを選択した場合、SPORTはダイビング開始後最大1分経過してからオンになります。これにより、ダイブコンピューターの機能に影響がある場合があります。ダイビング開始前にオンにするようにしてください。

## 2.3 スキューバプロLogTRAKの概要

LogTRAKは、SPORTがWindowsベースPCまたはMac OSと通信するために必要なソフトウェアです。これらのいずれかの機能を利用するには、クレードルでPC/MacとSPORTの間の通信を確立する必要があります。

通信を開始するには

1. クレードルをPC/Macに接続します。
2. PC/MacでLogTRAKを起動します。
3. クレードルを接続したシリアルポートを選択します。  
Extras -> Options -> download



Aladin SPORTのクレードル用に使用するCOMポートを選択します。

4. Aladin SPORTをクレードルに置きます。

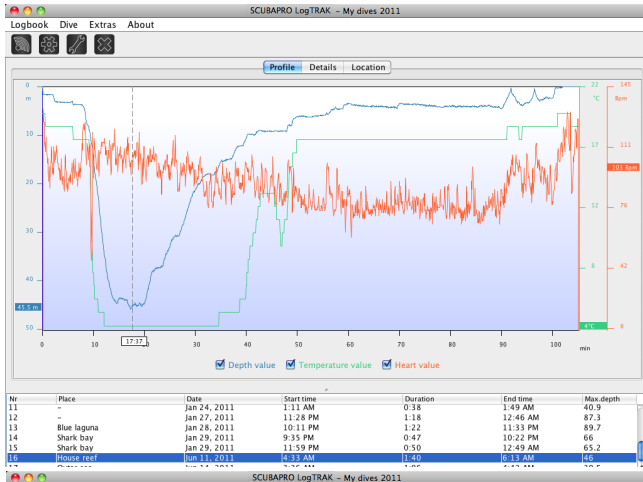
### ダイブプロファイルをダウンロードする

LogTrakで[Dive] -> [Download Dives]の順に選択して、SPORTのログブックをPC/Macに転送できます。3つのメイン画面があり、それぞれダイブログの決まった部分を示します。

「Profile」は、ダイビングをグラフィカルなデータで示します。

「Details」は、ダイブに関する詳細を表示する画面であり、機材やタンクに関する情報などを編集できます。

「Location」は、ダイビングポイントを世界地図で登録できます。ビューの選択タブはメインウィンドウの左側にあります。



SCUBAPRO LogTRAK - My dives 2011

Logbook Dive Extras About

Profile Details Location

Details Computer Tank

Rating: ★★★★★

Interval: 0.00 h

Avg depth: 12.0 m

Computer: MERIDIAN

Altitude: 0.850 m

MB-level: 0

Suit: semi-dry

Weight: 10.00 kg

Start pressure: 205.0 bar

End pressure: 60.0 bar

O2: 21.0 %

Comments

Nice wall dive, with several colourful fishes

Nr	Place	Date	Start time	Duration	End time	Max depth
11	-	Jan 24, 2011	1:11 AM	0:38	1:49 AM	40.9
12	-	Jan 27, 2011	11:28 PM	1:18	12:46 AM	87.3
13	Blue laguna	Jan 28, 2011	10:11 PM	1:22	11:33 PM	89.7
14	Shark bay	Jan 29, 2011	9:35 PM	0:47	10:22 PM	66
15	Shark bay	Jan 29, 2011	11:59 PM	0:50	12:49 AM	65.2
16	House reef	Jun 14, 2011	4:33 AM	1:40	6:13 AM	16.6
17	Outer sea	Jun 14, 2011	3:36 AM	1:06	4:42 AM	30.5

SCUBAPRO LogTRAK - My dives 2011

Logbook Dive Extras About

Profile Details Location

Location

Location: Safaga

Place: House reef

GPS x: 26.6700

GPS y: 34.1500

Weather: sunny

Water

Max temp.: 20.0 °C

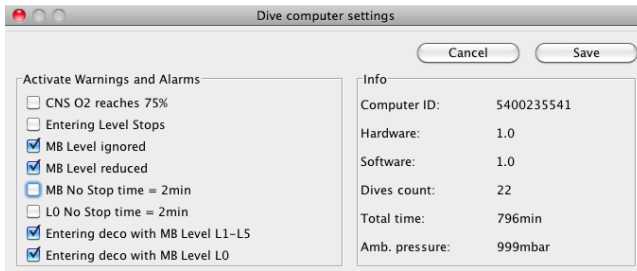
Min temp.: 4.0 °C

Visibility: super

Nr	Place	Date	Start time	Duration	End time	Max depth
11	-	Jan 24, 2011	1:11 AM	0:38	1:49 AM	40.9
12	-	Jan 27, 2011	11:28 PM	1:18	12:46 AM	87.3
13	Blue laguna	Jan 28, 2011	10:11 PM	1:22	11:33 PM	89.7
14	Shark bay	Jan 29, 2011	9:35 PM	0:47	10:22 PM	66
15	Shark bay	Jan 29, 2011	11:59 PM	0:50	12:49 AM	65.2
16	House reef	Jun 14, 2011	4:33 AM	1:40	6:13 AM	16.6
17	Outer sea	Jun 14, 2011	3:36 AM	1:06	4:42 AM	30.5

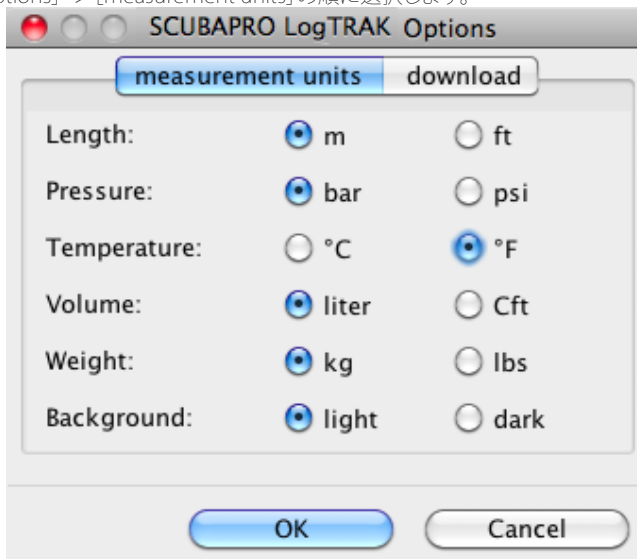
SPORTの警告設定を変更し、コンピューター情報を読む

[Extras] -> [Read Dive Computer settings]を選択すると、SPORTのメニューでは有効または無効にできない警告を有効/無効にできます

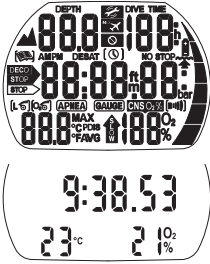


SPORTで変更可能な選択については、「警告とアラーム」の章を参照してください。表示単位をメートル法かヤード・ポンド法に変更することもできます。

[Extras] -> [Options] -> [measurement units]の順に選択します。



## 2.4 表示をオンにする



時刻表示

- 水中に入ったとき\*や、大気圧への適応が必要な場合には、自動的にオンになります
- 手作業でオンにするには、 または を押します。 でオンにした場合、すべてのセグメントが5秒間点灯します。その後、時刻、酸素比率 (O<sub>2</sub> mix)、温度が表示されます。



これを時刻表示と呼びます。ほとんどのナビゲーションの説明はこの画面が起点となります。ダイビング後、SPORTは自動的にこの表示に変わります。

前回のダイビングや高度の変化による残留窒素がある場合、SPORTは飛行機搭乗待機時間、飛行機搭乗待機アイコン、現在の高度クラス、移動限界高度を表示します (->26)

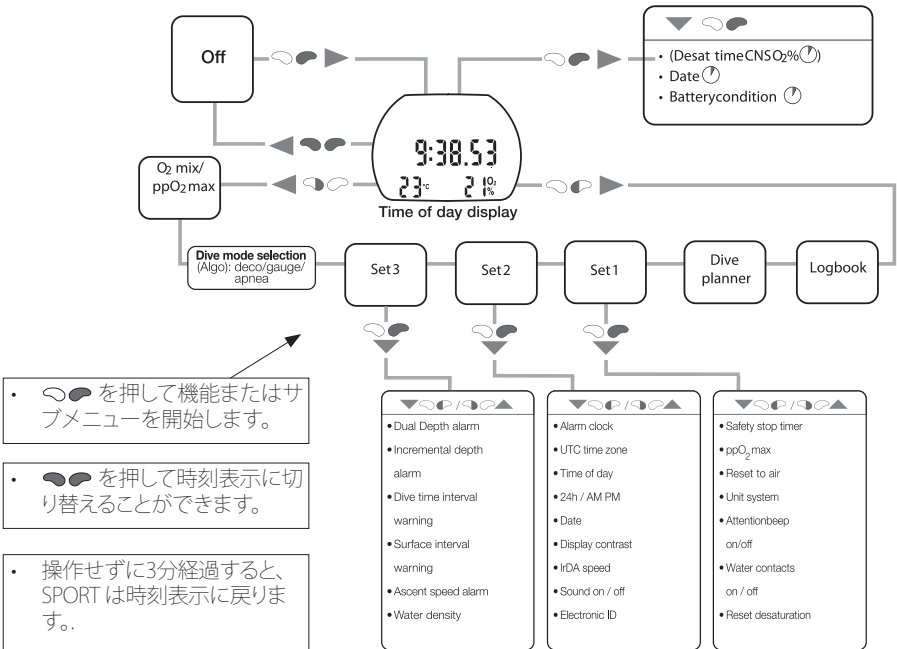


SPORTをオフにすると、情報は表示されませんが、大気圧のモニタリングは続けられます。高度クラスの変化を検出すると、SPORTは自動的に3分間オンになります (->27)。

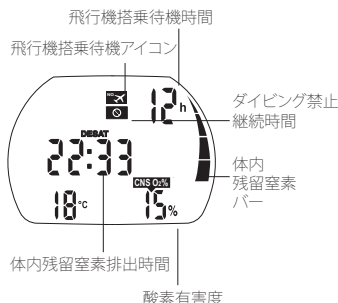
\*「水検知 オン」(「Set 1」->33) を選択した場合のみ。警告を参照 (->10)

## 2.5 ダイビング前/ダイビング後のSPORTのナビゲーション方法

時刻表示から別のメニューを選択できます。



## 2.6 体内残留窒素排出時間を確認する



時刻表示で 時刻表示で を押すと、体内残留窒素排出時間\*を確認できます。体内残留窒素排出時間は、酸素有害度、体内残留窒素、マイクロバブルの軽減のいずれかから、時間がより長くなるものを選んで計算されます。

操作をしない状態が5秒続くと、時刻表示に戻ります。

\* 前回のダイビングによる、または高度の変化による体内残留窒素がある場合のみ表示されます。

### 警告

体内残留窒素排出時間および行機搭乗待機時間の計算では、ダイバーがダイビング後に空気を呼吸することが前提となっています。

## 2.7 水面休息時間を確認する



時刻表示で (ログブックメニュー) を押すと、水面休息時間を確認できます。

水面休息時間とは、前回のダイビングが終了してからの経過時間であり、体内残留窒素がある限り表示されます。

## 2.8 日付を表示する

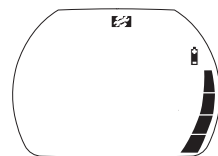


時刻表示で を1回または2回(体内残留窒素排出時間が残っているか否かに応じる) 押すと、日付が表示されます。

(日・月・年表示)

操作をしない状態が5秒続くと、時刻表示に戻ります。

## 2.9 バッテリー状態を確認する



バッテリー状態/  
パフォーマンス

時刻表示で を2回または3回(体内残留窒素排出時間が残っているか否かに応じる) 押すと、バッテリー状態を確認できます。

SPORTは、推定バッテリー残量をバーグラフで5秒間表示します。バーグラフが3区画になると、バッテリー警告が表示され(->15)、バッテリーの交換が必要になります(->37)

### 警告

- ・ バググラフに表示される区画が2つになると、水面およびダイブモードでバッテリーマークが点滅し、ダイビング終了時までにはバッテリーがもたない可能性があるという危険な状況をダイバーに警告します。
- ・ 区画が3つになり、バッテリーマークが完全に点灯したら、バッテリーを交換してください。



バッテリーのパフォーマンスは温度の影響を受けます。水温が低いと、バッテリーのパフォーマンスは低下します。ダイビング前にバッテリーが4区画表示されていた場合は、ダイビング中に3区画に減る可能性があります。この場合、バックライトが一時的に無効になります。以下を参照してください。



バッテリーパフォーマンスは十分に高く、ダイビングに適しています。

バッテリー警告が表示されます。バックライトが消えます。バッテリーを交換してください。->53

### 警告




バッテリー警告が点滅します。アラーム音と注意メッセージが消えます。バックライトが消えます。ダイブコンピューターが誤作動する危険があります。バッテリーがこの状態にならないようにしてください。

ダイビングできません。ダイブプランナーと設定が無効になります。

SPORTのログブックでは、ダイビング前にバッテリーが3区画以下であったダイビングに、バッテリーのシンボルが表示されます。バッテリーを長時間にわたって取り外しても、ログブック情報は失われません。

## 2.10 バックライト点灯



SPORTの表示は、ダイビング中もダイビング前/ダイビング後も点灯できます。バックライトを点灯するには、を押します。ライトは、「Set 1」->「Light」(ライト)での設定に応じて消灯されます。バックライトを点灯できるのは、コンピューターの表示がオンになっている場合のみです。





バックライトの点灯と消灯を繰り返すと、バッテリーの持続時間が低下します。

## 2.11 表示をオフにする

時刻表示で  を押すと、SPORTをオフにできます。  
SPORTは、操作をしない状態が3秒続くと自動的にオフになります。

## 2.12 アラームクロック

アラームクロックをオフにできるのは、ダイビング前/ダイビング後のみです。  
アラームクロックが「on」の場合、時刻表示にと表示されます。.

アラームが起動すると： が点滅し、警告音が30秒間（あるいは、ボタンを押すまで）続きます。  
アラームクロックの設定：->34「set 2」)


## 3 SOSモード

SOSモードが  
自動的にオフになる  
までの時間



起動：自動

指定された減圧停止を無視して、0.8m (3フィート) より浅い場所に3分以上留まると、ダイビング後に自動的にSOSモードが起動します。

 を押すと、「SOS」マークと、SOSモードの残り時間が表示されます。ログブックでは、このダイビングに「SOS」と表示されます。

SOSモードは24時間後に解除されます。

SOSモードでは、コンピューターをダイビングに使用することはできません。

SOSモードの終了後、48時間以内にダイビングすると、無減圧限界時間が短くなるか、安全停止時間が長くなる場合があります。

### 警告

- ダイビング後に減圧症の兆候や症状が見られた場合、ダイバーは緊急で治療を受けなければ、重症または死亡にいたる危険があります。
- 減圧症の治療としてダイビングしないでください。

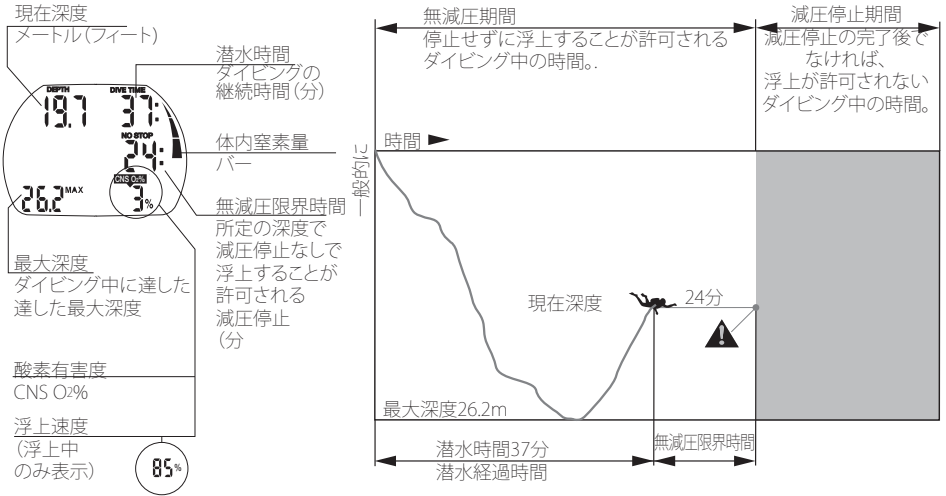


### III SPORTを使用するダイビング

#### 1 用語/シンボル

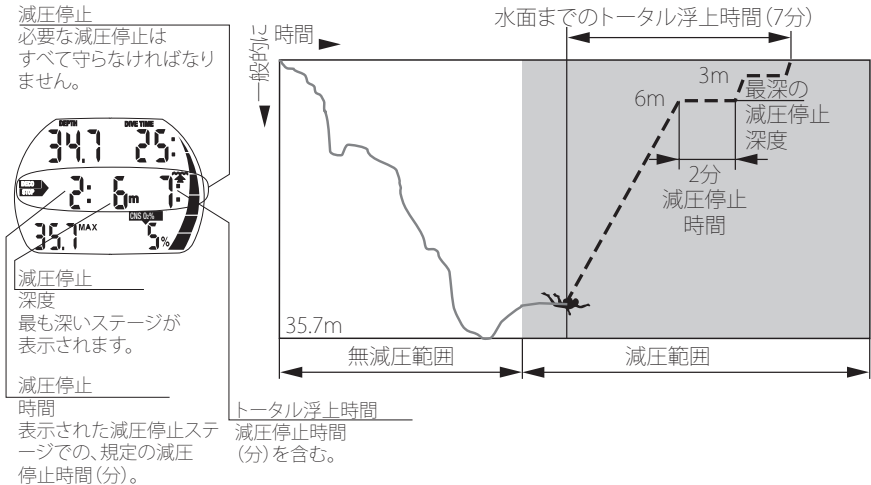
SPORTに表示される情報は、ダイビングの種類と段階によって異なります。

##### 1.1 一般的な用語/無減圧ダイビングにおける表示



- ☉ (最大深度 <math>○○>> ) 水温
- ☉ > 水温 ☉, O<sub>2</sub> mix ☉ and time of day ☉
- ☉ > (最大深度)...

##### 1.2 減圧ダイビングにおける表示



### 1.3 ナイトロックス情報 (O<sub>2</sub>情報)

圧縮空気を使用する通常のレクリエーションダイビングでは、減圧の計算は窒素を基に行われます。ナイトロックスによるダイビングでは、酸素比率と深度の増加とともに酸素中毒の危険性が高まり、ダイビング時間や最大深度が限られてきます。SPORTはこれを考慮して計算し、必要な情報を表示します。

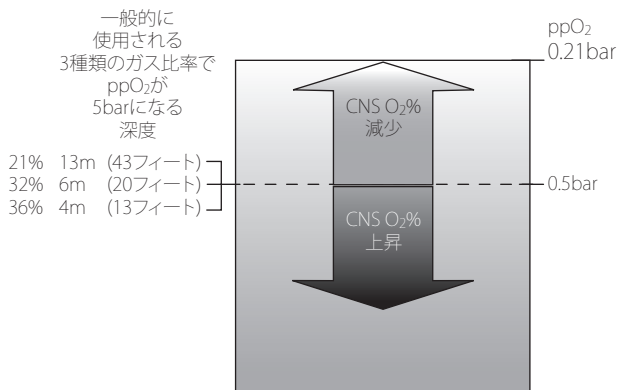
**O<sub>2</sub>% mix** 酸素比率: ナイトロックスにおける酸素比率は、21% (通常の圧縮空気) ~50%の間で、1%刻みで設定できます。設定した混合比率に基づいてすべての計算が行われます。

**ppO<sub>2</sub> max** 許可される最大の酸素分圧: 混合ガスに占める酸素比率が増えるほど、より浅い深度でこの酸素分圧の値に到達ようになります。ppO<sub>2</sub> maxに到達する深度を「最大行動可能深度 (MOD)」と呼びます。  
ガス比率の設定を入力すると、ppO<sub>2</sub> maxの制限設定と対応するMODが表示されます。許可される最大値にppO<sub>2</sub>が到達する深度まで潜ると、SPORTが警告音と警告表示を行います (->23)。



- ppO<sub>2</sub> maxの初期設定は1.4barです。  
ppO<sub>2</sub> maxの値を設定するには、LogTrakを使用するか、「set 1」で1.2~1.6barにします (->32)。また、ガス比率の設定時に変更することもできます (->23)
- CNS O<sub>2</sub>%の値/アラームは、ppO<sub>2</sub> max設定の影響を受けません。

**CNS O<sub>2</sub>%** 酸素有害度: 酸素比率が高くなると、特に中枢神経系 (CNS: central nervous system) において細胞内の酸素に注意が必要になります。酸素分圧が0.5barを上回るとCNS O<sub>2</sub>の値が上昇し、酸素分圧が0.5barを下回るとCNS O<sub>2</sub>の値が低下します。CNS O<sub>2</sub>の値が100%に近づくと、酸素中毒を発症する可能性がある限界に近づきます。



#### 警告

ナイトロックスダイビングは、国際的に認定された指導団体で適切な研修を受けた経験豊富なダイバーのみが行ってください。



### 3 ダイビング前の準備

最初のダイビング前には特に、SPORTの設定をチェックしてください。すべての設定は、SPORTで直接チェックして変更することも、LogTRAKでチェックして変更することもできます。

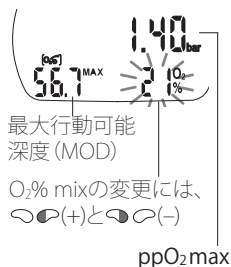
#### 3.1 酸素比率と最大酸素分圧 (ppO<sub>2</sub> max) を設定する [0.6]



**警告**

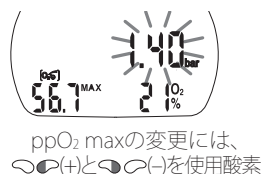
毎回のダイビング時とタンク交換後には、酸素比率の設定が現在使用している混合比と一致していることを確認してください。設定が正しくない場合、SPORTが当該ダイビングでの計算を誤ります。酸素比率の設定が低すぎると、警告なしで酸素中毒を発症する危険性があります。設定値が高過ぎると、減圧症を発症する危険性があります。計算の誤りは、反復ダイビングに引き継がれてしまいます。

👉 または 👉  
[0.6] まで



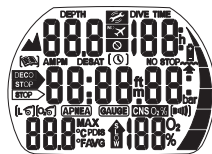
酸素比率を設定するには、SPORTを時刻表示にする必要があります。

- 👉 または 👉 を、酸素比率の設定用マークが表示されるまで押します。
- 👉 を押して、表示された酸素比率を変更することを確認します。
- 酸素比率は、👉 または 👉 を押して1%刻みで変更します。SPORTに、現在の酸素比率、最大分圧の制限 (ppO<sub>2</sub> max)、最大行動可能深度 (MOD) が表示されます。
- 選択した比率を👉 で確認します。
- 👉 または 👉 を押して、選択した酸素比率でのppO<sub>2</sub> maxを最低1.0barまで変更することができます。SPORTに、新しいppO<sub>2</sub> maxに対応するMODが表示されます。
- 👉 で、ppO<sub>2</sub> maxの設定を確認します。



- 確認を行わないと、表示が3分後に消え、エントリーは確定されません。
- 酸素比率が1~48時間後に自動的に21%にリセットされるように「set 1」(->32)またはLogTRAKで設定することも、「no reset」(リセットなし) (初期設定) にすることもできます。

#### 3.2 ダイビングの準備と機能のチェック



👉 を押してSPORTをオンにして、テスト画面をチェックします。すべての要素がアクティブになっていますか?画面に表示されない要素がある場合には、SPORTを使用しないでください。👉 でSPORTをオンにした場合は、テスト画面は表示されません。



**警告**

ダイビング前に、必ずバッテリー残量を確認してください(->14)。

## 4 ダイビング中の機能

### 4.1 浸水

水検知スイッチをオフにしている場合は(->33)、水に入れる前にSPORTの電源をオンにしてください。



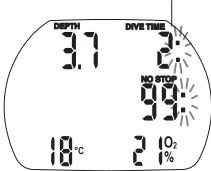
**警告**

「水検知 オフ」(「set 1」またはLogTrak) オプションを選択した場合、SPORTはダイビング開始後最大1分経過してからオンになります。これにより、ダイブコンピューターの機能に影響がある場合があります。ダイビング開始前にオンにするようにしてください。

水に入ると、約0.8m(3フィート)の深度から、すべてのダイビング機能のモニタリングが始まります。つまり、深度、タンク圧、潜水時間が表示され、最大深度が記録・保存され、体内残留窒素が計算され、無減圧限界時間または減圧の経過が評価され、浮上速度のコントロールが表示され、減圧手順が正しく行われていることが監視されるようになります。

### 4.2 潜水時間

潜水時間



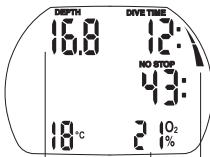
深度0.8m(3フィート)以下での経過時間が、潜水時間として分単位で表示されます。それより浅い場所での経過時間が潜水時間に加算されるのは、ダイバーが浮上後5分以内に0.8m(3フィート)より深く再潜行した場合のみです。

潜水時間中は、数字の右側のコロンが1秒間隔で点滅します。表示可能な最長潜水時間は199分です。



199分を超過すると、潜水時間は一度0分に戻って再び始まります。

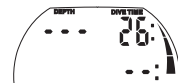
### 4.3 現在深度/酸素比率(O<sub>2</sub>% mix)



現在深度  
O<sub>2</sub>% mix  
体内窒素量バー

現在深度は、メートル法の場合は10cm刻みで、ヤード・ポンド法の場合は1フィート刻みで表示されます。

0.8m(3フィート)未満の深度では、表示は「---」となります。

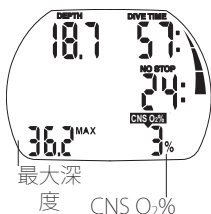


O<sub>2</sub>% mixは、CNS O<sub>2</sub>%が0で浮上速度が示されていない限り表示されます。



深度は水圧と密度から計算され、塩分濃度の影響もわずかに受けます。淡水でのダイビングでは、「Set1」->「Salt. off」(海水オフ)の設定を使用してください。

### 4.4 最大深度/水温

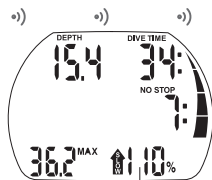


最大深度  
CNS O<sub>2</sub>%

最大深度は現在深度が1m(3フィート)以深の場合にのみ表示します。最大深度が表示されない場合、水温を表示します。

- > 水温, O<sub>2</sub> mix
- > 水温, Time, O<sub>2</sub> mix
- > 最大深度

#### 4.5 浮上速度



浮上速度

最適な浮上速度は、深度に応じて毎分7~20m (23~67フィート)です。この情報は、参考となる可変浮上速度に対する比率として表示されます。浮上速度が設定値の100%をオーバーすると、「SLOW」という黒い矢印が表示されます。浮上速度が140%をオーバーすると、この矢印が点滅を始めます。浮上速度が110%以上になるとアラーム音が鳴ります。アラーム音は、指定浮上速度に対する超過率に比例して強くなります。

### 警告

規定の浮上速度を常を守ってください。規定の浮上速度を超過すると、動脈循環にマイクロバブルが形成される場合があります。減圧症により重症または死亡にいたる危険があります。

- ・ 浮上手順が不適切だと、マイクロバブルが形成される危険性があるため、たとえ無減圧ダイビング域であっても減圧停止が指示される場合があります。
- ・ マイクロバブルの形成を防止するために必要な減圧停止時間は、浮上速度オーバーがあると大幅に増えます
- ・ 深い深度からの場合、ゆっくり浮上すると体内残留窒素量が増え、減圧停止時間と合計浮上時間の両方が長くなります。
- ・ 浅い深度からの場合、ゆっくり浮上すると減圧停止時間が短くなります。
- ・ 浮上速度の表示は「CNS O<sub>2</sub>」より優先されます。

### 警告

浮上速度	アラーム表示	アラーム音
110%	↑	))))
140%	↑	))))
160%	↑	)))))
180%	↑	)))))

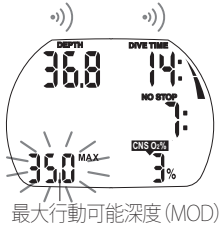
浮上速度を遅くしてください

浮上速度オーバーが長時間続くと、ログブックに記録されます。

以下の上昇率はSPORTで100%の値は対応しています。

深度 (m)	<6	<12	<18	<23	<27	<31	<35	<39	<44	<50	>50
速度 (m/分)	7	8	9	10	11	13	15	17	18	19	20
深度 (フィート)	<20	<40	<60	<75	<88	<101	<115	<128	<144	<164	>164
速度 (フィート/分)	23	26	29	33	36	43	49	56	59	62	66

#### 4.6 酸素分圧 (ppO<sub>2</sub> max) / 最大行動可能深度 (MOD)



酸素分圧 (ppO<sub>2</sub> max: 初期設定は1.4bar) により、最大行動可能深度 (MOD) が決まります。MODより深く潜ると、ダイバーは規定の最大レベルより高い酸素分圧にさらされます。  
ppO<sub>2</sub> maxとMODは、より低い値に手で設定することができます (->20、ガス比率の設定、ポイント5)。  
さらに、LogTRAKを使用するか、「set 1」で1.2~1.6barにして (->32)、ppO<sub>2</sub>の許可される最大値を設定することができます。  
MODをオーバーすると、アラームが続き、タンク圧の代わりにMODの値が表示されるようになります。

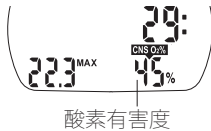
#### 警告

MODは、ppO<sub>2</sub> maxおよび使用する酸素比率の関数となります。ダイビング中にMODに達するか超えると、注意音メッセージが発生し、左下隅にはMODが表示されます (点滅)。  
酸素中毒の危険性を低減するために、表示されたMODより浅い場所に浮上してください。

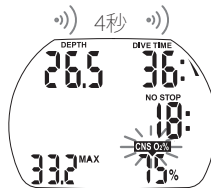
#### 警告

MODを超過しないでください。警告を無視すると、酸素中毒の危険性があります。

#### 4.7 酸素有害度 (CNS O<sub>2</sub>%)

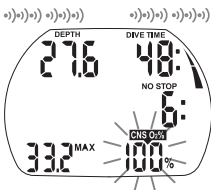


SPORT は、深度、時間、ガス比率に基づいて酸素有害度を計算し、浮上速度の場所に表示します。有害度は最大許容値に対する割合で1%刻みで表示されます (O<sub>2</sub>クロック)。  
この割合とともに「CNS O<sub>2</sub>」マークが表示されます。



#### WARNING

酸素有害度が75%に達するとシグナル音が消えます。「CNS O<sub>2</sub>」シンボルが点滅します。体内残留酸素量を減らすには、浅い深度へ浮上し、ダイビング終了を検討してください。



#### WARNING

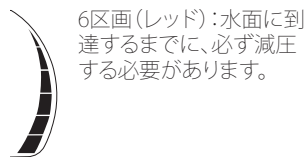
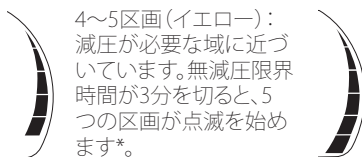
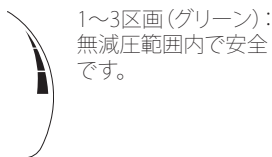
酸素有害度が100%に達すると、アラーム音が4秒単位で鳴り続けます。「CNS O<sub>2</sub>」と値 (%) が点滅します。酸素中毒の危険があります！  
ダイビングを中止する手続きを始めてください。



- ・ 浮上中や、CNS O<sub>2</sub>%の値がこれ以上上昇しないときは (酸素分圧が低いなど)、警告音が省略されます。
- ・ 浮上中は、酸素有害度の表示が浮上速度に変わります。浮上を停止すると、CNSの値に画面が戻ります。
- ・ SPORTは、CNS O<sub>2</sub>%の値が199%を超えた場合でも「199%」と表示します。

#### 4.8 体内窒素量バーグラフ

体内窒素量バーは、減圧が必要な体内窒素量にどれだけ近づいているのかを視覚的に示します。ダイビング中に窒素を吸収すると、点灯する区画が増えていきます。深度に応じて、区画が点灯を開始するまでの時間に変動があります。

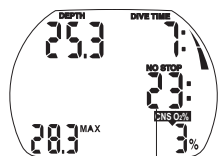


\*ダイバーのプロファイルによっては、5つ目の区画が点灯する前に無減圧限界時間が3分を切る場合もあります。この場合、点灯している区画のみが点滅を始めます。

減圧が完了するとすぐに6つ目の区画が消え、減圧中ではないことを示します。

#### 4.9 減圧情報

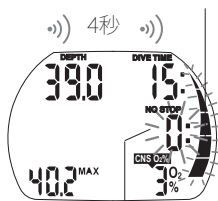
減圧停止が必要ないときは、「NO STOP」と無減圧限界時間(分)が表示されます。



無減圧限界時間  
体内窒素量バー



- ・ 無減圧限界時間が「99」の場合は、あと99時間以上、減圧せずにダイビング可能です。
- ・ 無減圧限界時間は、水温の影響を受けます。



無減圧限界時間が  
1分を切った

**警告**

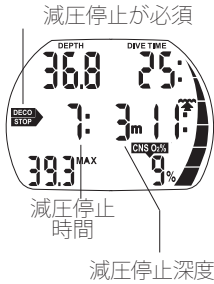
無減圧限界時間が3分を切ると、注意音シグナルが起動し、無減圧限界時間の値と体内窒素量バーが点滅を始めます。無減圧限界時間が1分を切ると、無減圧限界時間に「0」が点滅します。減圧ダイビングを回避するためには、無減圧限界時間が5分以上になる深度まで浮上してください。

**警告**

減圧停止が必要とされるダイビングお勧めできません。

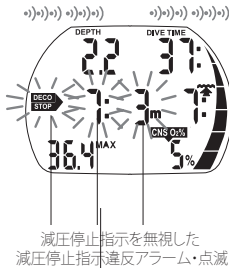


減圧停止の表示



減圧停止が必要になると、「NO STOP」が消え、**DECO STOP** マークが表示され、注意音が鳴り響きます。体内窒素量バーの点滅が止まり、6つ目の区画(レッド)が点灯します。最も深い減圧停止ステージがメートル(フィート)で表示され、そのステージでの減圧停止時間が分単位で表示されます。「7: 3m (10ft)」と表示された場合、3m (10フィート)の深度で7分間の減圧停止を行う必要があります。

減圧停止が終了すると、次に行うべき(今より浅い)減圧停止が表示されます。すべての減圧停止が完了すると、**DECO STOP** マークが消え、「NO STOP」と無減圧限界時間が再び表示されます。減圧停止深度が27m (90フィート)より深い場合、「- - - -」と表示されます。



**警告**

減圧停止を無視すると、減圧停止アラームが起動します。**DECO STOP** 矢印、減圧停止時間、減圧停止深度が点滅を始め、アラーム音が消えます。減圧停止を無視すると、マイクロバブルの形成により、減圧停止時間が大幅に増える可能性があります。減圧停止アラームが発生している状態で水面まで浮上すると、減圧停止の事故による危険性を指摘するため、**DECO STOP** 矢印、減圧停止時間、減圧停止深度が引き続き点滅を続けます。是正措置をとらなければ、ダイビング終了の3分後にSOSモードが起動します(->16)。  
減圧停止アラームの合計(累積)時間が1分を超えると、ログブックに記録されます。  
規定の減圧停止深度まですぐに潜行してください。

トータル浮上時間



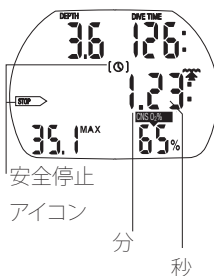
減圧停止が必要になると、SPORT にトータル浮上時間が表示されるようになります。これには、現在の深度から水面まで浮上するまでの時間に、必要な減圧停止時間がすべて加算されています。

トータル浮上時間は、規定の浮上速度に基づいて算出されます。トータル浮上時間は、浮上速度が適切(100%)でないと、変動する可能性があります。  
トータル浮上時間が99分を超える場合は「--」と表示されます。

**警告**

SPORT を使用するすべてのダイビングで、深度5m (15フィート)での3分間以上の安全停止を行ってください。

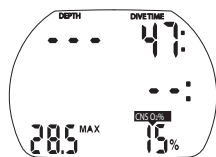
4.10 安全停止タイマー



安全停止タイマーには、ダイバーがダイビング終了時に安全停止深度で停止すべき時間を示します。6.5 m以浅に浮上するとタイマーが自動的に起動し、3分(デフォルト)からゼロまでカウントダウンします。タイマーは何度でも再開できます。タイマーの継続時間は1~5分の間に設定できます。  
安全停止タイマーは、次の状況で起動します。深度が6.5 m以浅、無減圧限界時間が99分、ゲージモードがオフ、「set 1」メニューで停止時間が選択済み(1~5分)。安全停止タイマーを起動するには、を押します。タイマーがカウントを始めると、ブックマークがダイブプロフィールに作成されます。もう一度押しと、タイマーが再び3分からカウントを始めます。安全停止タイマーは、6.5 m以深に移動するか、無減圧フェーズが99分未満の場合に自動的にオフになります。

## 5 ダイビング前/ダイビング後の機能

### 5.1 ダイビング終了時



深度が0.8m  
(3フィート)未満

SPORTは、水面 (0.8m/3フィート未満) まで浮上してから5分間、ダイブモードのまま変化しません。このタイムラグにより、短時間だけ浮上して方向を確認することがあります。

5分経過後、ダイビングは終了し、ログブックに記録されます。次に、3分間の時刻表示に続き、ダイブコンピューターの電源がオフになります。

#### 警告

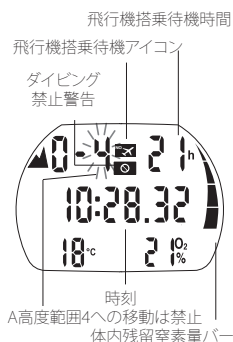
体内残留窒素排出時間および飛行機搭乗待機時間の計算では、ダイバーがダイビング後に空気を呼吸することが前提となっています。

### 5.2 体内残留窒素量バーグラフ

体内残留窒素量バーグラフは、水面休息期間中に細胞から窒素が排出されるにつれて順に消灯します。ダイビング中と水面休息中で、それぞれの区画は1:1で同等の意味を持ちます。したがって、反復潜水では、バーの表示はダイビング開始直前の水面でのステータスから再開します。ただし、以下の2つの例外があります。

- 一番上の区画は、体内残留窒素排出時間が完全に終了するまで点灯したままになります。これは、体内残留窒素排出時間が残っていることを示すためで、ここから開始したダイビングはすべて「反復潜水」としてログに記録されます。ただし、体内残留窒素排出時間の残りがごくわずかである場合には、この区画はダイビング中に消える場合もあります。
- 24時間のSOSロック中は、すべての区画が点灯したままになります。

### 5.3 体内残留窒素排出時間、飛行機搭乗待機時間、ダイビング禁止警告時間



ダイビング終了後の5分間は、時刻、「飛行機搭乗待機時間」、「飛行機搭乗待機警告」(該当する場合)、現在の高度範囲、移動が禁止される高度範囲がSPORTの画面に表示されます (->28)。


飛行機搭乗待機時間とは、飛行機に搭乗可能になる時刻までの時間であり、0時間になるまで調整表示されます。

#### 警告

SPORTに「do not fly」(飛行機搭乗禁止)と表示されている状態で飛行機に搭乗すると、減圧症により重症または死亡にいたる危険があります。

#### 警告


水面休息中にダイビング禁止警告が表示されている場合、再びダイビングを行ってはいけません。

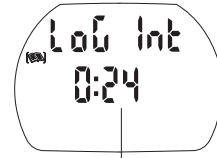
残りの体内残留窒素排出時間と酸素有害度を確認するには、 を押します。



体内残留窒素排出時間  
体内残留窒素量バー  
酸素有害度

体内残留窒素排出時間は、酸素有害度、体内残留窒素、マイクロバブルの軽減のいずれかから、時間がより長くなるものを選んで計算されます。

水面休息の経過時間を確認するには、 を押します。



水面休息時間



ダイビング禁止  
警告

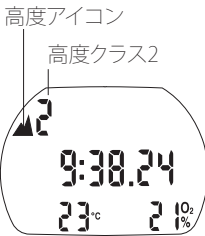
SPORTがリスクの増大を検知すると(過去のダイビングによるマイクロバブル蓄積の危険性がある場合や、CNS O<sub>2</sub>レベルが40%を超えた場合)、ダイビング禁止のマークが画面に表示されます。ダイビング禁止警告時間はダイブプランナーメニューに表示されます。SPORTでは、マイクロバブルの蓄積量を軽減し、CNS O<sub>2</sub>レベルを40%未満に抑えるために、この時間より長く水面休息時間を確保することが推奨されます



ダイビング禁止警告メッセージがコンピューター画面に表示されている場合はダイビングを行わないでください。(CNS O<sub>2</sub>が40%を超えたことではなく)マイクロバブルの蓄積によりこの警告が発生し、この警告を無視してダイビングを行うと、無減圧限界時間が短くなるか、減圧停止時間が長くなります。さらに、ダイビング終了時のダイビング禁止警告時間が大幅に長くなります。

## 6 高所の湖でのダイビング

### 6.1 高度クラス

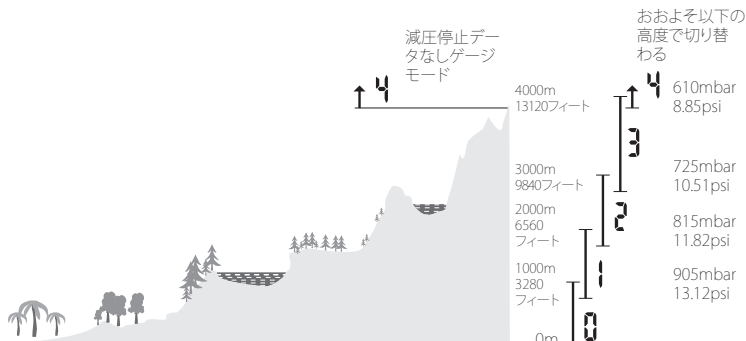


が表示されません。次の図に、高度クラスの大まかな内容を示します。

SPORTは、表示をオフにしている場合でも、60秒ごとに大気圧を測定します。高度が有意に上昇したことを検出すると、自動的にオンになり、新しい高度クラス(1-4)と体内残留窒素排出時間が表示されます。現在表示されている体内残留窒素排出時間は、現在の高度に合わせて調整した時間を表します。この調整時間内にダイビングを開始すると、体内で残留窒素の排出が進められているため、SPORTは「反復潜水」と見なします。

高度クラスは5つに分類され、大気圧による影響を受けます。このため、高度クラスは周縁部が重複しています。高所にある湖に行くと、水面での高度クラスが表示され(時刻表示)、ログブックとダイブプランナーには山のマークと現在の高度クラスが表示されます。海拔およそ1000m(3300フィート)までは高度

01234  
高度クラス



### 6.2 禁止高度



高度クラス3、4への移動は禁止されます。許可される最大高度：2650 m (8694フィート)。

**警告**

SPORTに「do not fly」(飛行機搭乗禁止)と表示されている状態で飛行機に搭乗すると、減圧症による重症または死亡の危険性があります。



最大高度： 850m (2790ft)    1650m (5413ft)    2650m (8694ft)    4000m (13120ft)



高度クラスの表示とともに、高所への移動禁止が表示される場合もあります。たとえば、現在の高度が1200m (3937フィート) (高度クラス1) で、高度クラス2 (2650m/8694フィート) までは移動できますが、高度3、4への移動は許可されません。

### 6.3 高所の湖での減圧ダイビング



高度クラス4でのダイビング：  
・減圧停止データなし (自動ゲージモード)

高所においても適切に減圧停止を行うために、高度クラス1、2、3 では3m (10フィート) での減圧停止ステージが4m (13フィート) ステージと2m (7フィート) ステージに細分されます。規定の減圧停止深度は順に2m/4m/6m/9m... (7フィート/13フィート/20フィート/30フィート...) となります。

気圧が620mbar (8.99psi) (海拔4100m/13450フィート以上) の場合、減圧停止データは計算および表示されません (自動ゲージモード)。さらに、ダイブプランナーも使用できなくなります。

## IV ダイブプランナー

PLn: SPORT にはダイブプランナーが用意されており、無減圧ダイビングの計画を立てることができます。

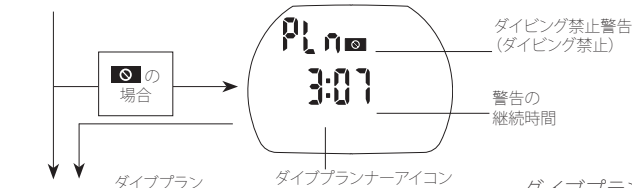
プランニングについて

- ・ 選択した酸素比率およびMODに対する割合
- ・ 最後に行ったダイビングでの水温
- ・ 高度クラス (該当する場合)
- ・ 体内残留窒素の排出状況 (ダイブプランナーの選択時)
- ・ ダイバーの負荷が標準的であり、規定の浮上速度を守っている

### 1 無減圧ダイビングをプランする

ダイブプランナーを選択するには、SPORTをユーザモードにする必要があります (時刻表示)。ダイブプランナーのシンボル (PLn) が表示されるまで または を押します。

ダイブプランナーの開始 または PLnまで

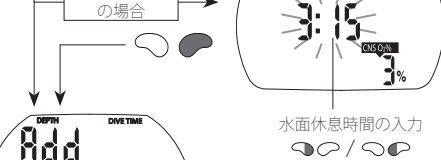


SPORTがマイクロバブルの蓄積によるリスクの増大を検知すると、ダイビング禁止警告とその時間が表示されます。

でダイブプランナーを開始します。 。

ダイブプランナーの開始

反復ダイビングの場合



ダイブプランナーを選択する前に、体内残留窒素排出時間 (DESAT) が残っていた場合、時間入力用のウィンドウが表示されます。現在からダイビング開始までの水面休息時間は、 および を使用して15分刻みで変更で

きます。SPORTには、選択した水面休息時間の終了時のCNS O<sub>2</sub>%と、移動が禁止される高度セクションが表示されます。

ダイビング禁止警告とその時間が表示された場合、SPORTはこの時間を15分単位で切り上げて水面休息時間として提案します。提案した時間を短縮すると、ダイビング禁止警告が表示されます。

無減圧限界時間

希望する深度を設定 ( および )

深度は、選択したガス (O<sub>2</sub> mix) のMODまでしか表示されません。

ダイビング禁止警告に関する追加情報と安全上の考慮事項は、27ページで説明しています。

### 2 ダイブプランナーを終了する

を1、2回押すと、ダイブプランナーが終了します。また、操作せずに3分経過した場合も終了します。

## V ログブック

### 1 概要

潜水時間が2分を超えると、ログブックにダイビングが記録されます。SPORTは、約25時間分のダイビングプロフィールを記録します。この情報は、標準的な赤外線インターフェース (IrDA) と Windows® 用ソフトウェアLogTrakを使用してPCに転送できます。メモリー内のすべてのダイビングをダイブコンピューターで直接表示することができます。

### 2 操作

🔍 を押して📄を表示 時刻表示で📄を押してログブック🔍 を選択します。



水面休息时间

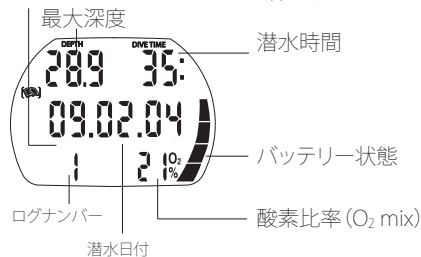
ログブックを選択したときに、体内残留窒素排出時間 (DESAT) が残っていた場合、前回のダイビングからの (水面休息) 時間が表示されます。



#### 1 ページ目

ログブックアイコン

🔍 でログブックを開きます。  
一番最後に行ったダイビングが表示されます (ログナンバー1)。  
1件ごとに3ページが表示されます。



最大深度

潜水時間

バッテリー状態

ログナンバー

酸素比率 (O<sub>2</sub> mix)

潜水日付

ここで、以下の操作を実行できます。

- 🔍 を押して、表示されたダイビングに関する詳細情報を取得する。
- 他のダイビングを選択する。  
🔍 または🔍 を押すたびに、次の (または前の) ダイビングに移動できます。  
ログブックの最後には、統計情報が表示されます (->31)。



SPORTに、選択したダイビングに関する詳細情報が表示されます。

## 2ページ目



🕒 を押すと、ダイビングに関する詳細情報が表示されます。

## 3ページ目



(高度変更後の) 適応時間以内にダイビングを開始すると、水面休憩時間ではなく適応時間が表示されます。

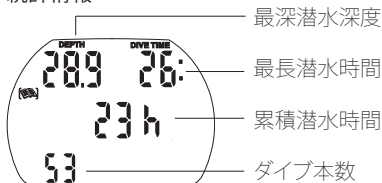
ダイビングに関してさらに収集可能な情報:

- DESAT ダイビング前にバッテリーを取り外して、体内残留窒素排出時間をリセットした (1, 2ページ)
- 浮上速度が速すぎた\* (1ページ)
- 減圧停止の指示を無視した\* (1ページ)
- 減圧停止の指示を無視した\* (3ページ)
- 高度クラス (2ページ)
- ダイビング中に、バッテリー品質係数が3/バ以下だった (1, 2, 3ページ)
- ダイビング後にダイビング禁止警告が発令した (1ページ)

\*ダイビング中のアラーム

🕒 で、ログリスト (ログブックの最初の画面) に戻ります。ここで、次に参照したいダイビングを選択し、🕒 を押してこのダイビングに関する情報などを収集できます。

## 統計情報



時刻表示から🕒、🕒、および🕒、を押して、すべてのダイビングに関する以下の統計情報を取得することができます。

## ログブックを終了する

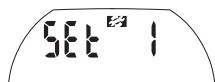
🕒 を1, 2回押すと、ログブックが終了します。  
ログブックを操作せずに3分経過した場合も、自動的に終了します。






## VI 設定

### 1 「set 1」メニュー

「set 1」メニューまたはLogTRAKでは、次のアイテム（ダイブ機能）を設定することができます。





設定	範囲	初期設定	ページ
・安全停止時間	1~5分	3分	32
・最大酸素分圧 (ppO <sub>2</sub> max)	1.2-1.6bar/オフ	1.4bar	32
・O <sub>2</sub> % mixを空気にリセットする制限時間	1-48時間/リセットなし	リセットなし	32
・単位系	メートル法/ヤード・ポンド法	(地域による)	32
・注意音シグナル	オン/オフ (LogTrak: 選択)	オン	33
・水検知	オン/オフ	オン	33
・体内残留窒素リセット	オン/オフ	リセットなし	33



時刻表示で、「set 1」が表示されるまで  または  を押します。  
 を押して、「set 1」のメニューの選択を確定します。  
 「set 1」メニューで、 および  を押してメニュー内をスクロールします。

#### 安全停止時間を設定する







-  を押して、安全停止時間を変更することを確認します。時間が点滅を始めます。
-  または  を押して、時間を1分刻みで変更するか、「off」（アクティブではない）にします。
- 選択した時間を  で確定します。

#### 最大酸素分圧 (ppO<sub>2</sub> max) を設定する







ppO<sub>2</sub> max

-  を押して、ppO<sub>2</sub> maxを変更することを確定します。現在の値が点滅を始めます。
- または   を押して、この値を0.05bar刻みで変更します。
- 選択した値を  で確定します。

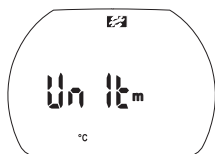
#### O<sub>2</sub>% mixを空気にリセットするまでの制限時間を設定する








O<sub>2</sub> mixを空気にリセットする制限時間

-  を押して、リセットの制限時間を変更することを確定します。現在の設定が点滅を始めます。
-  または  を押して、制限時間を変更します。  
 (1 - 48時間またはリセットなし:「- h」)
- 選択した値を  で確定します。

#### 単位を選択する



-  を押して、単位を変更することを確定します。選択した単位が表示されます (m / ft / °C / °F)。
-  で、「m」と「ft」を切り替えます。
- 選択した単位を  で確定します。「°C」または「°F」が点滅を始めます。
-  で、「°C」と「°F」を切り替えます。
- 選択した単位を  で確定します。



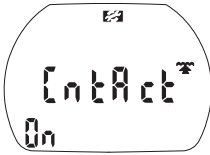
## 注意音シグナルのオン/オフを切り替える



このオプションでは、注意音シグナルのみをオフにできます(アラーム音はアクティブのままになります)。この違いについては、19ページを参照してください。

1. を押して、注意音シグナルの設定変更画面へ移行します。「on」または「off」が点滅を始めます。
2. を押して「on」、「off」を切り替えます。
3. 設定を で確定します。

## 水検知のオン/オフを切り替える



SPORTを水中に沈めると、水検知スイッチが自動的にオンになります。

## 警告

「水検知 オフ」オプションを選択した場合、SPORTはダイビング開始後最大1分経過してからオンになります。これにより、ダイブコンピューターの機能に影響がある場合があります。ダイビング開始前にオンにするようにしてください。

1. を押して、水検知の設定変更画面へ移行します。「on」または「off」が点滅を始めます。
2. を押して「on」、「off」を切り替えます。
3. 設定を で確定します。

## 体内残留窒素排出時間をリセットする

## 警告

残留窒素をリセットしてダイビングすると、危険な状況に陥り、重症または負傷の原因となる危険性があります。残留窒素のリセット後48時間以内はダイビングを控えてください。残留窒素をリセットしてダイビングすると、ダイブコンピューターが減圧停止の計算を誤り、重症または負傷の原因となる危険性があります。

残留窒素をリセットしても構わないのは、今後48時間以上ダイビング、飛行機搭乗、高所への移動を行わないことが確実である場合のみです。



体内残留窒素排出時間をリセットしても良いのは、有効な理由がある場合(48時間以上ダイビングを行っていない他の人にダイブコンピューターを貸す場合など)に限られます。ダイブコンピューターに体内残留窒素排出時間がある場合、リセットの結果について、ユーザーに完全な責任があります。

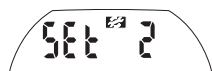
1. を押して、表示された体内残留窒素排出時間をリセットする画面へ移行します。「on」が点滅を始めます。
2. を押して「on」、「off」を切り替えます。
3. 設定を で確定します。「off」を選択すると、「Code」(コード)と「000」が表示されます。
4. と を押して1桁目を設定します。 で確定します。2桁目について、手順4を繰り返します。適切なコードを入力すると、体内残留窒素排出時間がゼロにリセットされます(体内残留窒素排出時間オフ)。

コード: 313

## 2 「set 2」メニュー

「set 2」メニューまたはLogTRAKでは、次のアイテムを設定することができます。

設定	範囲	初期設定	ページ
・アラームクロック	0-23時間59分、オン/オフ	12:00、オフ	34
・UTCゾーン	±13時間、増加:15min		34
・時刻	時間:分		34
・24時間またはAM/PM設定	24(オフ)/AM/PM(オン)		35
・日付			35
・表示コントラスト	1(低)-12(高)	4	35
・IrDA速度(set 2のみ)	低/高	低	35
・サウンド	オン/オフ	オン	35
・SPORT電子識別IDの表示			36



時刻表示で、「set 2」が表示されるまで または を押します。

を押して、「set 2」のメニューの選択を確定します。

「set 1」メニューで、 および を押してメニュー内をスクロールします。



### アラーム時刻を設定する

アラームクロックをオフにできるのは、ダイビング前/ダイビング後のみです。「Sound」(サウンド)は「set 2」で「on」にする必要があります。

1. を押して、アラーム時刻を設定画面へ移行します。時間が点滅を始めます。
2. または を押して、時間を設定します。
3. 設定を で確定します。分が点滅を始めます。
4. または を押して、分を設定します。
5. 設定を で確定します。「on」または「off」が点滅を始めます。
6. 「on」は「有効」(時刻表示は )、「off」は「無効」を意味します。 を押して「on」、「off」を切り替えます。
7. 選択したステータスを で確定します。

### UTCオフセットを設定する(協定世界時)



この設定により、実際の時間設定に影響を与えることなく、新しいタイムゾーンに時計を設定することができます。

1. を押して、UTCオフセットを設定する画面へ移行します。時間が点滅を始めます。
2. または を押して、時間を設定します(±13時間)。
3. 設定を で確定します。分が点滅を始めます。
4. または を押して、15分刻みで分を設定します。
5. 選択したステータスを で確定します。

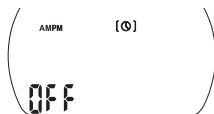
### 時刻を調整する



このメニューまたはUTCオフセットを使用して、自分のタイムゾーンに時刻を調整することができます(上記を参照)。

1. を押して、時刻を調整する画面へ移行します。時間が点滅を始めます。
2. または を押して、時間を設定します。
3. 設定を で確定します。分が点滅を始めます。
4. または を押して、分を設定します。
5. 設定を で確定します。

## 24時間またはAM/PM設定を選択する



1. を押して、設定を変更する画面へ移行します。「on」または「off」が点滅を始めます。
2. を押して「on」(AM/PM)と「off」(24時間)を切り替えることができます。
3. 設定を で確定します。

24時間 - AM/PM設定は、日付の表示に影響を与えます(下記を参照)。

## 日付を調整する

日付(24時間設定)

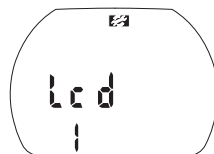


日付(AM/PM設定)



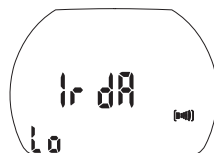
1. を押して、日付を調整する画面へ移行します。月の初日が点滅します。
2. または を押して、日付を設定します。
3. 設定を で確定します。月(日付)が点滅します。
4. または を押して、月(日付)を設定します。
5. 設定を で確定します。年が点滅を始めます。
6. または を押して、年を設定します。
7. 設定を で確定します。

## 表示コントラストを調整する



1. を押して、表示コントラストを調整する画面へ移行します。現在の設定が点滅を始めます。
2. または を押して、コントラストを設定します。低コントラスト:(1)、高コントラスト:(12)
3. 設定を で確定します。

## IrDA速度を選択する



初期設定は「低」です。ダウンロードを高速化するためには「高」に設定しますが、必ずしもすべてのIrDAインターフェースが「高」に対応している訳ではありません。

1. を押して、IrDA 速度変更画面へ移行します。「Lo」(低)または「hi」(高)が点滅を始めます。
2. で「低」と「高」を切り替えます。
3. 設定を で確定します。

低:9600bps 高:57 600bps

## サウンドのオン/オフを切り替える



## 警告

サウンドをオフにすると、ブザーが一切鳴らなくなります。警告音は鳴りません(アラームと注意メッセージ)。警告音が鳴らない場合、死亡や深刻な怪我の原因となる危険な状況に陥る危険性があります。

サウンドをオフにする場合、すべての責任はユーザーに帰します。



1. を押して、設定を変更画面へ移行します。「on」または「off」が点滅を始めます。
2. で、「on」と「off」を切り替えます。
3. 設定を で確定します。「off」を選択すると、「Code」(コード)と「000」が表示されます。



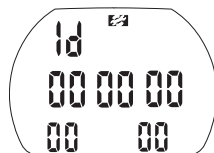
4. と を押して1桁目を設定します。 で確認します。2桁目について、手順4を繰り返します。適切なコードを入力すると、サウンドがオフになります。

コード: 313



「sound」(サウンド)を「off」に設定すると、ダイビング前/ダイビング後の機能(高所アラーム、目覚ましアラーム、高度範囲の変更)にも適用されます。

SPORTハードウェアの電子識別IDを表示する



IDナンバー

このIDは、メンテナンス関連の問題やその他の問題を報告するときに必要です。

## VII 付録

### 1 技術情報

動作可能高度:	減圧情報がある場合: 海拔およそ4000m (13000フィート) まで。減圧情報がない場合: 4000m (13000フィート) 以上: 自動ゲージモード (無制限)
最大表示深度:	120m (395フィート)、0.8m~99.9m: 0.1m刻み、99.9m~: 1m刻み。フィートの場合は常に1フィート刻み。
減圧停止深度の計算深度範囲:	0.8~120m (3~395フィート)
最大環境圧:	13bar (189psi)
時計:	クォーツ時計、時刻、日付、潜水時間表示 最大199分
酸素比率:	21% (圧縮空気) ~50%の間で調整可能。
動作可能温度:	-10° to +50°C (14°F to 122°F)
電源:	CR2450、推奨ブランド: PANASONIC、DURACELL、RENATA、ENERGIZER、SONY、VARTA
バッテリー寿命:	2~3年、または200~300回のダイビング。実際のバッテリー寿命は、年間の潜水回数、バックライトの使用の有無、潜水時間によって異なります。水温が低い場合、バッテリーの寿命は低下します。すべてのCR2450バッテリーの状態が全く同じとは限りません。バッテリーの品質が低い場合、寿命は非常に短くなります。

### 2 メンテナンス

ユーザーによるSPORTのメンテナンスはほとんど必要ありません。唯一必要なことはダイビング後に必ずSPORTを真水でしっかり洗い流すことと、必要に応じてバッテリーを交換することです。(->37)。SPORTの故障を防ぐために、次の推奨事項を守り、長期間にわたって問題なく使用できるようにしてください。

### 警告



- SPORT を落としたり衝撃を与えないでください。
  - SPORT を強い直射日光にさらさないでください。
  - ダイビング終了後は、SPORTを真水ですすいでください。
  - SPORTを密封された容器内に格納せず、換気を保ってください。
  - 水検知で問題が発生した場合、せっけん水でSPORTを洗浄し、完全に乾燥させてください。SPORTのハウジング表面は、シリコン系のグリースで処理できます。水検知部にグリースを塗布しないでください。
  - SPORTを、溶媒を含有する液体(水を除く)で洗浄しないでください。
  - ダイビング前に、必ずバッテリー残量を確認してください(->15)。
  - バッテリーアイコンが表示された場合は、バッテリーを交換してください(->37)。
  - バッテリー残量が低下した状態でのダイビング:ダイビング中にSPORTが止まる可能性があります。また、メンテナンスアイコンとエラーコード「E3」または「E6」が表示されます。ダイビングを終了し、バッテリーを交換してください(->37)。
  - ダイビング前/ダイビング後:メンテナンスアイコンとエラーコード「E3」が表示されたら、バッテリーを交換してください(->37)。
- E3以外のすべてのエラーコード:SPORTをこれ以上ダイビングで使用することはできません。SPORTをSCUBAPRO認定ディーラーに提出してください。

## 2.1 バッテリーを交換する (Battery kit includes battery and Teflon coated o-ring)

### 警告

バッテリーを取り外すと、体内残留窒素排出時間を含むすべての生理学的データがクリアされます。つまり、ダイブコンピューターで反復ダイビングを正しく計算することができなくなります。体内残留窒素排出時間が残っている状態でバッテリー交換してからダイビングを行うと、減圧症により重症または死亡にいたる危険があります。

バッテリーは次の状況下でのみ交換してください。

- ダイビング後に、今後48時間以上ダイビング、飛行機搭乗、高所への移動を行わないことが確実である場合。
- ダイビング前に、当該ダイブコンピューターで体内残留窒素排出時間が残っていない場合。水の浸入を防ぐために、バッテリー交換は注意して行う必要があります。不適切なバッテリー交換による損傷については保証の範囲外となります。

### 警告

素手でバッテリーの金属面に触れないでください。  
2本のバッテリー端子を短絡させないでください

手順:

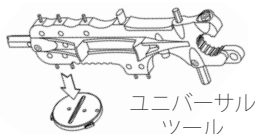
バッテリーの交換では、コインまたはユニバーサルツールと、清潔な布が必要です。

### 警告

- バッテリーキャップに漏れが生じると、水の浸入によりSPORTが破損したり、SPORTが突然停止する可能性があります。
- バッテリーケースを開くときは、必ず乾燥した清潔な場所で行ってください。
- バッテリー交換時に限り、バッテリーケースを開いてください。



1. SPORTを柔らかいタオルで拭いて乾かします。
2. コインまたはユニバーサルツールでバッテリーキャップを回します。
3. バッテリーキャップを取り外します。
4. Oリングを慎重に取り外します。
5. バッテリーを取り外します。バッテリーの上下を触らないでください。



環境保護のため、バッテリーは正しく廃棄してください。

### 警告

Oリングに水の浸入、破損、その他の障害が見つかった場合、それ以降はSPORTをダイビングに使用しないでください。SCUBAPRO正規代理店に持参し、点検と修理を依頼してください。

6. バッテリーの交換時は必ず新品のOリングを差し込み、古いOリングは廃棄してください。新しいOリングは正しい状態であることを確認し、Oリング、Oリング用の溝、バッテリーキャップによごれや埃がないようにしてください。  
必要に応じて、パーツを柔らかい布で拭いてきれいにしてください。バッテリーキャップのOリング用の溝にOリングを入れます。

### 警告

7. SCUBAPRO純正のOリングのみを使用してください。このOリングはテフロンコートされており、さらなる潤滑は不要です。
8. Oリングを潤滑しないでください。潤滑剤がバッテリーキャップに化学的なダメージを与える可能性があります。

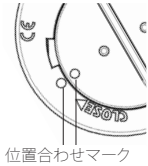
### 警告



9. バッテリーの極性が正しいことを確認してください。バッテリーの装着方向を誤ると、SPORTが破損する可能性があります。  
新しいバッテリーは、「+」が外に向くようにしてバッテリーケースに装着してください。

バッテリーの交換後、SPORTは自動テスト(8秒)を行い、テストが完了すると短いピープ音になります。

### 警告



10. バッテリーキャップは±120°のオフセットで取り付けすることができます。位置合わせマークを利用して、キャップの位置を適切に合わせることができます。位置が合う前に回転しなくなった場合は、防水性が保たれない可能性があります。位置合わせ位置よりさらに回転させると、キャップが破損する可能性があります。バッテリーキャップの不適切な装着によるSPORTの破損は、保証の範囲外となります。

バッテリーキャップを下に押しこみ、時計回りに回して、2つのマークの位置を合わせてください。

11.   でスイッチオンして、SPORTを確認してください(->14)。

## 3 保証

### 3.1) 保証とは

SCUBAPRO JAPAN、あるいは日本国内の正規代理店より販売された製品に限り、保証されます。

### 3.2) 保証期間

保証期間はご購入後2年間です。

保証期間中の修理またはお取替えは、保証期間の延長にはなりません。

修理またはクレーム時には、ダイブコンピュータのご購入日が記載された保証書またはレシート・納品書等購入日を確認できる証明書類共に、ご購入された正規代理店を通じSCUBAPRO JAPANまでお送り下さい。

### 3.3) 保証範囲

SCUBAPRO JAPANでは改善できるすべての製造上のミスや、材料の欠陥に関しては追跡調査を行います。そしてクレーム事項を審査し、いかなる故障の修理方法も決定します。そして本製品の修理や交換を決定します。その場合、保証期間内であれば本製品の修理は無料で行われ、故障したパーツや本製品そのものの交換もそれぞれに保証の対象です。

### 警告

- SCUBAPRO JAPANで行われたバッテリー交換や修理以外による形跡が見られた場合、保証の対象外となります。
- SCUBAPRO JAPANで行うバッテリー交換は、品質と製品基準値をクリアしたバッテリーのみを使用し、Oリングはその都度必ず交換し、耐圧検査も行います。幾重もの安心を提供する当社でのバッテリー交換をお勧めします。

以下の事項に起因する故障は保証の対象外です。

- ・ 過剰に粗雑に扱われたための故障。誤った操作。
- ・ 外部からの影響、たとえば運搬中の損傷、落としたりぶつけたりしたための故障、気温などの影響やその他の自然現象によるもの。
- ・ 水を張らなかつたチャンバーでの圧力検査。
- ・ ダイビング事故での故障。
- ・ 個人により行われたバッテリー交換。
- ・ バッテリーキャップの誤った取り付けに起因する破損、水没。

## VIII ゲージモード / アプネアモード

## 1. ゲージモード



警告

ゲージモードでは、すべてのアラーム音、アラーム表示、および注意メッセージがオフになります。

本製品をゲージモードにすると、深度、潜水時間、タンク圧が表示されます。🔍を押して、最大深度から水温→平均深度→時刻→最大深度の順にスクロールすることができます。🔍を押して、ストップウォッチをリスタートします。これによりブックマークが生成されます。ゲージモードは、無減圧限界時間の計算や減圧の監視をサポートしません。最大酸素分圧 (ppO<sub>2</sub> max) と酸素有害度 (CNS O<sub>2</sub>%) の監視もオフになります。マイクロバブルの蓄積についての情報は表示されません。ガス比率、MOD、およびマイクロバブルのレベルの設定は行えず、ダイブプランナーの選択もできません。

ゲージモードのオン/オフを切り替える

体内残留窒素排出時間が残っていない場合や、48時間以内にゲージモードでダイビングをしていない場合、水面や陸上で、ゲージモードのオン/オフを切り替えることができます。

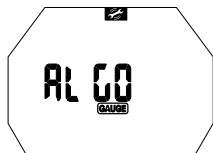


警告

- ・ゲージモードでのダイビングは、ご自分の責任で行ってください。
- ・ゲージモードでのダイビング後、48時間以上経過してから、減圧停止計算用にコンピューターを使用してください。

ゲージモードでのダイビング後48時間以上経過しなければ、本製品はダイブコンピューターとして機能しません。

手順:



1. 時刻表示から🔍または🔍を押して、「ALGO」を表示します。(「---」と表示されている場合、ゲージモードのオン/オフを切り替えることはできません。ゲージモードでのダイビング後48時間、あるいはコンピューターモードでのダイビング後に体内残留窒素排出時間が残っている限り、「---」と表示されます。)
2. 🔍を押して、ゲージモードを起動するか無効にするかを確定します。「deco」、「gauge」、または「apnea」が点滅を始めます。

3. 🔍または🔍を押して、モードをスクロールします(「Gauge」、「Deco」(スキューバダイビング)、「Apnea」)。「Gauge」を選択します。

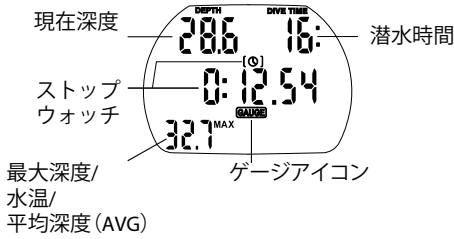
4. で設定を確認します。

確認を行わないと、表示が3分後に消え、エントリーは確定されません。

ゲージモードでのダイビング

ゲージモードでは以下の情報が表示されます。

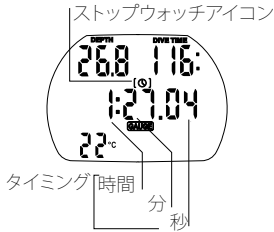




- > 水温
- > 平均深度 (AVG)
- > 水温 ①、時間 ②
- > 最大深度

平均深度は連続的に更新され、ダイビング開始時点からの時間平均深度を表します。  
 を押して、いつでも平均深度をリセットすることができます。これによりブックマークも生成されます。

### ストップウォッチ



ゲージモードでは、本製品が水に入ると、潜水時間のモニタリングが自動的に始まり、ストップウォッチも起動します。ストップウォッチは最大24時間機能します。  
 の時間をリセットし、ストップウォッチをゼロからスタートします。  
 ストップウォッチをスタート(リスタート)するたびに、ブックマークが作成されます。

### ゲージモードでのダイビング後



コンピューターモードを使用できない残り時間

本製品をコンピューターモードで使用できない時間が表示します。待機期間の終了後は、ゲージモードを手作業でオフにすることができます。  
 ゲージモード後の飛行機搭乗待機時間は48時間です。  
 体内残留窒素排出時間は表示されません。

## 2. アプネアモード

### 2.1. アプネアモードのオン/オフを切り替える

ゲージモードと同じように、体内残留窒素排出時間が残っていない場合や、48時間以内にアプネアモードでダイビングをしていない場合、アプネアモードのオン/オフを切り替えることができます。

#### 警告

スキューバダイビング後にアプネアダイビングを行うことは推奨されません。インストラクターやダイビング機関に、最新の推奨事項を確認してください。

#### 警告

本製品はアプネアモードで人体の窒素飽和状況を計測しませんが、アプネアダイビング後の飛行機搭乗待機時間は、48時間に設定されます。また、アプネアダイビング後のスキューバダイビングは十分な水面休息をとらなければなりません。インストラクターやダイビング機関に、最新の推奨事項を確認してください。

手順:



1. 時刻表示から $\square$ または $\circ$ を押して、「ALGO」を表示します。
2.  $\circ$ を押して、アプネアモードを起動するか無効にするかを確定します。「deco」、「gauge」、または「apnea」が点滅を始めます。
3.  $\square$ を押してモードをスクロールし、アプネアモードを選択します。
4.  $\circ$ で設定を確定します。

#### 警告

Scubaproでは、息こらえ潜水を行う前に、アプネアダイビングおよびフリーダイビングの技術と生理学について専門的な訓練を受けることを推奨しています。ダイブコンピューターは適切な潜水訓練の代わりにはなりません。訓練が不十分であったり不適切であったりするとダイバーが過ちを犯し、重傷や死亡の原因となります。

#### 警告

深いアプネアダイビングの繰り返しはお勧めしません。アプネアダイビングの合間には十分な回復時間をおいてください。


**警告**

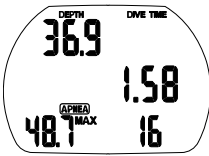
呼吸を止めて行うすべてのダイビングには、酸素の窮乏による突然の意識喪失、つまり浅海失神の危険が伴います。

アプネアダイビングは最も自然なダイビングの形で、フリーダイビングや息こらえ潜水とも呼ばれます。アプネアダイビング特有の要件に対処するために、本製品にこのモードが組み込まれました。アプネアモードはゲージモードに似ており、ダイブアルゴリズムはなく、あらゆる決定がダイバーに委ねられます。このためScubaproでは次のことを推奨しています。

1. アプネアダイビングは絶対に単独で行わないでください。
  2. アプネアダイビングは必ずダイバーの知識と体調が許す範囲で行ってください。
- アプネアダイビングでは素早い潜行・浮上が許されるため、本製品では精度を高めるため深度の高速サンプリングを採用しています。表示と最大深度は15秒おきに更新され、ログブックは1秒ごとに更新されます。

## 2.2 アプネアモードでのダイビング

アプネアモードでは以下の情報が表示されます。



アプネアモードでは、 を押すことにより手動で潜水を開始できます。この機能により、水面から高速サンプリングが始まります。アプネアダイビングは深度0.8mで自動的に開始します。

起動したアプネアモードは浮上後15分続きます。このため、ログブックに記録された正確なデータによって反復アプネアダイビングを開始できます。水面休息モードは の長押しにより止めることができます。

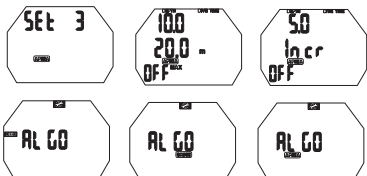
本製品のアプネアモードには、アプネアダイビングとアプネアトレーニングのための特別なアラームと機能があります。アラーム機能は同時に複数選択できます。

## 2.3 「set 3」メニュー (アブネア)

「set 3」メニューまたはSmartTrakで、次のアイテムを設定することができます。

設定	範囲	初期設定
デュアル深度アラーム	5-100m, 5-100m, on/off	10m (35ft), off 20m (65ft), off
インクリメンタル 深度アラーム	5-100m, dn(down)/ up/ bth(both)/ off	5.0m (20ft), off
潜水時間間隔の警告	15s-10min, on/off	30s, of
水面休息時間の警告	15s-10min, on/off	1分、オフ
浮上速度アラーム	0.1-5m/s, (1-15ft/s) on/off	1m/s、オフ
水密度	1.000~1.050kg/l (淡水~1.000, 海水~1.035)	1.025 kg/l

時刻表示で、「set 3」が表示されるまで または を押します。



を押して、「set 3」メニューの選択を確認します。  
 および を押してメニュー内をスクロールします。

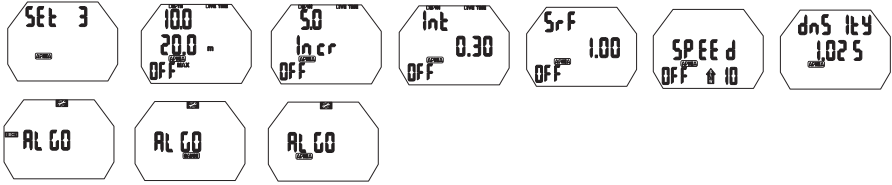
デュアル深度アラームを設定する



このアラームにより、2種類の深度アラームを設定できます。

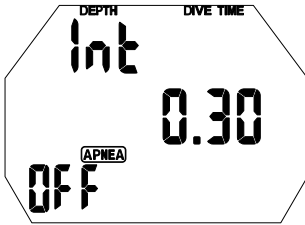
1. を押して、デュアル深度アラームを変更することを確認します。最初の深度値が点滅を始めます。
2. または で、最初の深度を調整します。
3. 最初の深度アラームを で確認します。2番目の深度アラームが点滅を始めます。
4. または で、2番目の深度を調整します。
5. 2番目の深度アラームを で確認します。「on」/「off」が点滅を始めます。
6. で、「on」/「off」を切り替えます。
7. 設定を で確認します。

## 漸進的な深度アラームを設定する



このアラームにより、決められた深度刻みで深度アラームが繰り返し発生するように設定できます。

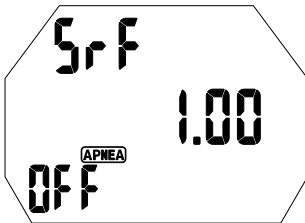
1. を押して、漸進的な深度アラームを変更することを確認します。値が点滅を始めます。
2. または で、値を調整します。
3. 増分を で確定します。Up/Down/Both/Off が点滅を始めます。
4. で Up/Down/Both/Off を切り替えます。
5. 設定を で確認します。



このアラームによって、決められた間隔で繰り返す時間アラームを設定することができます。

1. を押して、潜水時間間隔の警告の設定を変更することを確認します。値が点滅を始めます。
2. または で、値を調整します。
3. 選択した間隔を で確定します。「on」/「off」が点滅を始めます。
4. で、「on」/「off」を切り替えます。
5. 設定を で確認します。

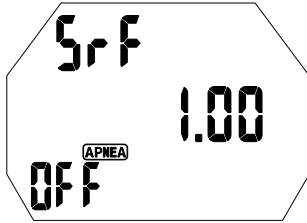
## 水面休息時間間隔の警告を設定する



このアラームによって、回復に要する時間、あるいはテーブルを使用してトレーニングする場合に回復潜水の開始時間を設定できます。

1. を押して、水面休息時間間隔の警告の設定を変更することを確認します。値が点滅を始めます。
2. または で、値を調整します。
3. 選択した時間を で確定します。「on」/「off」が点滅を始めます。
4. で、「on」/「off」を切り替えます。
5. 設定を で確認します。

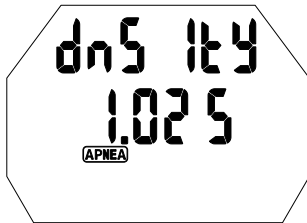
## 浮上速度アラームを設定する



このアラームでは、浮上速度のアラームを設定できます。

1. を押して、浮上速度アラームの設定を変更することを確認します。値が点滅を始めます。
2. または で、浮上速度の値を調整します。
3. で、最大浮上速度を確定します。「on」/「off」が点滅を始めます。
4. で、「on」/「off」を切り替えます。
5. 設定を で確認します。

## 水密度を設定する



水の塩分濃度がわかる場合、この設定によって深度を正確に最適化できます。

1. を押して、水密度の設定を変更することを確認します。値が点滅を始めます。
2. または で、塩分濃度値を調整します。
3. 設定を で確認します。



あなたのダイブ器具は、リサイクルおよび再利用が可能な高品質なコンポーネントから製造されています。ただし、これらのコンポーネントは廃棄電子・電気機器の規制に従って正しく管理しなければ、環境および/または人間の健康に悪影響を与える可能性があります。

欧州連合加盟国にお住まいのお客様は、EU指令2012/19/UEに従ってお近くの回収拠点に古い製品を返却することで、環境および健康保護に貢献していただけます。回収拠点とは、具体的には、一部の製品販売店および地方自治体が提供するものです。左にリサイクルマークの付いた製品は、通常のごみとして廃棄してはいけません。

## 4 Index

バックライト点灯	15	水面休憩時間	14, 29, 30
アラームクロック	16, 34	システム	9
AM/PM	35	技術情報	36
浮上速度	19, 22	時刻表示	13, 34
注意音シグナル	19, 33	単位系	32
バックライト	15	UTC	34
バッテリーアラーム	19	警告	19
バッテリー状態、確認する	14	水のキャリブレーション	21
バッテリー寿命	36	水検知	10, 33
バッテリー交換	37		
ピープ音、オフにする	33		
CNS O <sub>2</sub>	17, 18, 19, 23		
日付	14, 35		
減圧期間中の減圧停止データ	17, 25		
無減圧期間中の減圧停止データ	17, 24		
減圧停止、無視した	19, 25		
深度、現在	21		
表示コントラスト	35		
体内残留窒素排出時間	14, 26		
体内残留窒素、リセット	33, 37		
ダイブ	17		
LogTRAK	10, 11, 30		
ダイブプランナー	29		
潜水時間	21		
ダイビング、ダイビング終了時	26		
E3、E6エラーコード	37		
電子識別ID	36		
飛行機、飛行機搭乗待機時間	14, 26		
ガス比率、設定	20		
IrDA	9, 35		
ライト	15		
ログブック	30		
メンテナンス	36		
最大深度	17, 23		
MOD	18, 19, 20, 23		
高所の湖、ダイビング	27		
体内窒素量バーグラフ	24		
ナイトロックス	18		
ダイビング禁止警告	26, 29		
無減圧限界時間	17, 24		
O <sub>2</sub> mix、設定	20		
酸素比率	17, 18, 20		
酸素分圧	18, 19, 23		
酸素分圧、ppO <sub>2</sub> max	18, 20, 23, 32		
酸素有害度	18, 19, 23		
SPORTの操作	4, 5, 9		
PC、P Cへの転送(ログブック)	9, 11		
ppO <sub>2</sub> 、酸素分圧を参照			
押しボタン	4, 9		
エアへのリセット	32		
体内残留窒素量バーグラフ	26		
安全停止タイマー	26		
Set 1	32		
Set 2	34		
ppO <sub>2</sub> maxの設定	20, 32		
サウンド、オン/オフ	19, 35		
SOSモード	16		







Johnson Outdoors Diving